

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【公表番号】特表 2016-528767 (P2016-528767A)

【公表日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2016-055

【出願番号】特願 2016-521470 (P2016-521470)

【国際特許分類】

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

H 0 4 B 1/59 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 B 5/02

H 0 4 B 1/59

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 18 日 (2017.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

誘導通信の方法であって、

水晶発振器を使用して低電力発振器 (L P O) を較正することと、

近距離場通信 (N F C) アンテナに関連する周波数振動を、前記 N F C アンテナに接続され、較正された前記 L P Oを使用してモニタすることと、

基準周波数値からの周波数振動が、周波数偏差閾値よりも大きいことを決定することと

、
N F C チップが前記決定に応じて N F C ボーリング手順を実行すること、
を備える、方法。

【請求項 2】

前記較正は、周期的に実行される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記較正は、前記水晶発振器を使用するサブシステムが駆動される時、実行される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記較正は、整数のウェークアップ周期につき 1 度実行され、ここで、前記整数は、1 より大きい、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記モニタすることは、連続して実行される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

発生回数は、持続時間に渡って平均化される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記基準周波数は、1 つ以上の以前に決定された値に基づいて、適応的に決定される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

誘導通信のための装置であって、

水晶発振器を使用して低電力発振器 (L P O) を較正するための手段と、

近距離場通信（NFC）アンテナに関連する周波数振動を、前記NFCアンテナに接続され、校正された前記LPOを使用してモニタするための手段と、

基準周波数値からの周波数振動が、周波数偏差閾値よりも大きいことを決定するための手段と、

前記決定に応じてNFCポーリング手順を実行するための手段と、
を備える、装置。

【請求項 9】

前記校正は、周期的に実行される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記校正は、前記水晶発振器を使用するサブシステムが駆動される時、実行される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 11】

前記校正は、整数のウェークアップ周期につき 1 度実行され、ここで、前記整数は、1 より大きい、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 12】

前記モニタすることは、連続して実行される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 13】

発生回数は、持続時間に渡って平均化される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 14】

前記基準周波数は、1 つ以上の以前に決定された値に基づいて、適応的に決定される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 15】

コンピュータ上で実行されたとき、請求項 1 から請求項 7 のうち的一项に記載の方法を実行するための命令を備える、コンピュータプログラム。